

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 富山市立寒江小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒930-0108
富山市本郷中部427

E-mail : samue-es@tym.ed.jp

Websit : http://swa.toyama-city-ed.jp/weblog/index.php?id=toyama038

児童生徒数：男子 55名 女子 37名 合計 92名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) 国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 (地域・福祉)
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

1年「つなげよう！～「め」と「て」と「こころ」～」

- ・校舎内外の施設探検、学校の教職員・上級生との交流（夏祭り・秋祭り）
- ・お年寄りとの会食、遊びの伝授
- ・幼稚園、保育所の年長児との交流（冬祭り）

2年「パワーぜんかい！チャレンジ☆さむえ ～さむえたんけん すてきはっけん じぶんはっけん～」

- ・やさいの栽培、収穫パーティー
- ・生きものの飼育
- ・町たんけん
- ・1年との交流学习

「さむえのすてきおしえるね」（ESD講座）

3年「寒江・人じまん～マイ・ヒーローをしょうかいします～」

- ・寒江出身の偉人探求
- ・自分の身近なヒーローさがし
- ・寒江のヒーロー紹介

4年「つなげよう心と心～支え合って生きるわたしたち～」

- ・高齢者疑似体験
- ・寒江校区の「よつばのクローバー」の利用者さんとの交流
- ・自主的な交流の推進

5年「米作りから見つめよう！わたしたちの食環境～食の提案書をつくろう～」

- ・バケツ、ミニ田んぼによる米作り
- ・世界の食べ物調べ
- 「外来語を知ろう(What do you want?)」
- ・食の提案書発表会

6年「寒江の「きずな」プロジェクト」

- ・地域の方へのアンケート、インタビュー
- ・新聞づくり、地域のためにがんばっている人調べなど自主的な活動の推進
- ・地域をよくするための呼びかけ（学習発表会：「Dreams come true～私たちの手でつくろう ふるさとの未来～」
- ・地域へ活動の成果の発表

「寒江のきずなプロジェクト」を振り返ろう（ESD講座）

特別支援級「挑戦！私の町づくり—「〇〇の里 寒江」—」

- ・地域探索
- ・エコバッグ作成

児童会

- ・書き損じはがきの回収

夏季休業・冬期休業

- ・各自による節電の取り組み

※ 詳細は別紙

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用 ユネスコクラブの活動として実施
- その他（帰宅後、各自で活動）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。 ■ 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

- ・各学年の活動については、生活科・総合的な学習の時間を中心に、ESDカレンダーを作成し、他教科とのかかわりを明らかにして学習に位置づけるとともに、保護者等の協力も得ながら、実際に校区に出かけ探検・調査したり、各自の課題に応じて、帰宅後活動したりした。
- ・書き損じハガキについては、児童会が中心になって回収ボックスを作ったり、放送で呼びかけたりした。
- ・節電については、経済産業省の資料をホームページからダウンロードし、それをもとに各クラスで節電に努めるとともに、夏季休業中・冬季休業中には、各自で目標を決め、できることに挑戦し、自分の取り組みやがんばり度等をカードで振り返らせた。また、各自の取り組み等については、節電コーナーを設け、全校に紹介した。

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

- ・小規模校であることや、保護者や地域住民の学校教育に対する関心が高いといった本校の特徴を生かし、ゲストティーチャーとして協力をいただいたり、地域の特色を生かした活動に取り組んだりするなど、連携を密にした取り組みを行い効果をあげた。
- ・どの活動においても、体験活動を重視して取り組んだ。何度も繰り返し、人・もの・ことにかかわることから生まれた一人一人の思いや自分とのかかわりを大切にして学習を進めたが、子どもたちが感動したり、驚いたりしながら、「なぜ?」「どうして?」と五感を通して対象とかかわり、切実感や必要感を感じながら意欲的に追究を進めていくことができた。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
 その他（各学年授業構想案）

